

### 取り巻く状況と支援の基本的な考え方

- ▶ 推計**3,239人**(15歳～64歳までの約40人に1人)
- ▶ **幅広い年齢層**への分布
- ▶ 要因の**複雑化・複合化**

※西東京市社会参加に関する調査(令和6年度)



#### 当事者・家族

- ・その人らしく安心して暮らすことができる環境づくり(相談体制・居場所など)
- ・社会における人・場とのつながりをとおして、社会から孤立させないようにする



#### 地域全体

- ・ひきこもりへの正しい理解を促し、偏見等のない地域づくり

### これまでの主な取り組み

- ①相談支援 ②居場所づくり ③ネットワークづくり ④家族セミナー ⑤講演会 ⑥実態調査

### これまでの取り組みでみえた課題

- ① 相談窓口の明確化・周知
- ② 中高年層向けの自宅以外の居場所づくり
- ③ 関係機関・関係団体等との連携体制、プラットフォームの構築
- ④ 支援者の知識・知見の蓄積
- ⑤ ひきこもりへの正しい理解の普及



### 令和7年度の主な取り組みのポイント

- ▶ **ひきこもり支援コーディネーター** の配置
- ▶ **ひきこもり地域支援センター事業** の継続・充実・強化

#### コーディネート機能の強化

令和7年7月からひきこもり支援係を新設し、ひきこもり支援コーディネーターを配置。

「生活サポート相談窓口」にて相談等を受け付け、適切な機関等につなぐ役割を担う。また、市と関係機関・関係団体同士での連携体制の構築等を行う。

#### 幅広い年代を対象とした居場所等のプログラムの構築

旧谷戸高齢者在宅サービスセンター跡地を活用し、「ひきこもり地域支援センター事業」における**居場所活動等の拠点**として運用。幅広い年代に対応できる居場所づくりや、就労準備支援事業における活動プログラムを実施し、支援ニーズに応じた運用を進めていく。

#### ひきこもりに対する偏見のない地域づくり

家族セミナーや講演会等の各種セミナー等を実施し、市民等にひきこもりについての情報提供と**正しい理解**等を促し、**偏見のない地域づくり**を目指す。



### 令和7年度の主なスケジュール(予定)

4月～6月

相談支援の継続  
居場所拠点の準備など



7月

- ・ひきこもり支援係の新設
- ・ひきこもり支援コーディネーターの配置
- ・居場所拠点の開設



8月～翌年3月

- ・家族セミナーの開催
- ・講演会の開催
- ・事業の振り返り

